



～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～RSウイルス、夏風邪について～

昨年の春から夏にかけて RS ウイルスが大流行しましたが、今年も東京都内でも 6 月末からジワジワと増加してきています。右の表は、東京都の定点把握数です。これは、東京都健康安全研究センターが毎週発行しているもので、どなたでも Web 上で参照することが出来ます。これを見ると、夏風邪の手足口病と、ヘルパンギーナも増加傾向であることがわかります。RS ウイルスに関しては、乳児では気管支炎や肺炎で入院になることがありますので、顔色が悪いときや、哺乳量が減っているとき、咳き込んで吐いてしまう時は医療機関を受診しましょう。

定点把握対象疾患 報告数 2022年26週

定点種別	対象疾患	2022年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		23週	24週	25週	26週		
小児科	RSウイルス感染症	45	69	121	182	260	264
		0.17	0.27	0.47	0.70		
	咽頭結膜熱	100	84	82	88		
		0.39	0.33	0.32	0.34		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	48	37	53		
		0.19	0.19	0.14	0.20		
	感染性胃腸炎	1,791	1,918	1,710	1,441		
		6.94	7.49	6.60	5.54		
	水痘	18	16	22	33		
		0.07	0.06	0.08	0.13		
	手足口病	66	94	184	315		
		0.26	0.37	0.71	1.21		
	伝染性紅斑	3	4	2	5		
		0.01	0.02	0.01	0.02		
	突発性発疹	106	108	125	113		
		0.41	0.42	0.48	0.43		
	ヘルパンギーナ	18	27	64	131		
		0.07	0.11	0.25	0.50		

上段：報告数
下段：定点当たり

～新型コロナワクチン副反応について～

厚労省から 7 月 8 日に発表されたワクチン副反応報告では、因果関係不明ですが累計 1768 人（前回から 25 人増）死亡されていました。新たに亡くなられた 25 名のうち、64 歳以下が 12 名、11 歳以下が 1 名でした。また、重篤な副反応は 7437 人でした。5～11 歳の副反応報告の 100 件のうち、23 件が重篤と報告されています。このデータは厚労省のホームページからどなたでもご覧になれます。

表 1：6 月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

文責：清水マリ子

	感染症	患者数
1	胃腸炎(7/10 含む)	151
2	溶連菌	55
3	咽頭アデノウイルス	12
4	突発性発疹	9
5	伝染性膿痂疹(とびひ)	8
6	新型コロナウイルス	4
7	手足口病	1

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページからご覧になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

～あんずからのお知らせとお願い～

★**空き状況**を Web で確認出来るようになっていました。
しみず小児科・内科クリニックのホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。
★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日 8：30 までに必ずご連絡**をお願い致します。
利用ご希望の方が 1 人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

